

新大

キャンパスライフをもっと豊かに

広報

| 特集 | 卒業生・修了生からのメッセージ

挑戦の日々、その先へ

～喜び、苦悩し、助け合い、さまざまな思い出を胸に～

学長からのメッセージ 新潟大学長 牛木 辰男



No.231

[2025年 卒業記念号]



真の強さを学ぶ。

新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY

｜特集｜卒業生・修了生からのメッセージ

挑戦の日々、その先へ

～喜び、苦悩し、助け合い、さまざまな思い出を胸に～

卒業生・修了生みなさん、

卒業ならびに修了おめでとうございます。

新潟大学での学生生活はどんなものだったでしょうか？

たくさんの学びや出会いがあったと思います。

楽しかったこと、嬉しかったこと、大変だったこと…。

みなさんが学生生活で最も印象に残っていることや、

卒業後の進路選択について教えてください！

教育学部

学校教員養成課程

金内 心由希 KANEUCHI Koyuki

学生生活で最も印象に残っていることは、専修の仲間と過ごした時間です。講義の時間や教育実習、ボランティア活動から、ご飯会や旅行など、辛い時は励まし合い、楽しい時間を共有し合った4年間はとても充実していました。

また、専修の仲間や先生方は、私の夢を後押ししてくれる存在でもありました。同じ夢に向かって一緒に歩んだ仲間、支えてくださった先生方のおかげで大きく成長することができたと感じています。感謝の気持ちでいっぱいです。



これからの決意表明



春から新潟県の教員として働きます。子どもの難しさに寄り添い、可能性や強みを引き出せるような教員を目指して、学び続ける姿勢を大事にしながら、子どもたちや先生方と積極的に関わっていききたいと思います。

人文学部

人文学科

高橋 芽未 TAKAHASHI Memi

私は大学生活を通じて多くの時間を共にする仲間と出会えました。特にサークルで出会った仲間と多くの時間を過ごし、旅行やマラソン大会への出場といったイベントだけでなく、何気ない会話などの全てがかけがえのない思い出です。また、授業では教職課程をとっていたので、一緒に授業を受けた友達はハードスケジュールを乗り越える上で大きな支えとなりました。大学生活を通して出会った人々のおかげで充実した大学生活を送ることができました。



これからの決意表明



春からは新潟でも地元でもない場所で社会人生活が始まります。環境が大きく変わるので不安もありますが、これまでしてもらってきたように、自分の周りの人にやさしくできるような素敵な大人になりたいと思います。

卒業生・修了生の皆さんへ

卒業、修了まことにありがとうございます。心からお祝いを申し上げます。

新潟大学の理念は「自律と創生」です。事実を自分の目で見極めて、正しく判断しながら未来を創る、そうした精神であり、新潟のシンボル「柳」のように、しなやかで折れない「真の強さ」を持つことです。

新潟大学は皆さんの母校です。ここで学んだことを忘れず、そのことに誇りをもって、未来への一步を踏み出してください。どんなときにも失敗を恐れずに、勇気をもって各方面で活躍してください。

新潟大学は卒業後、修了後も皆さんとの絆を大切に、皆さんを応援します。

改めて、皆さんの未来に幸あれ！

新潟大学長

牛久保 男



工学部

工学科
土橋 洋 DOBASHI Hiroshi

学生生活で最も印象に残っているのは、レシーバーの効率向上を目指した研究活動です。カーボンニュートラルに貢献したいという目標から熱工工学研究室に所属し、解析ソフトを活用したシミュレーションやデータ分析を行いました。膨大なデータと向き合い、仮説を立てて検証を繰り返す過程は困難でしたが、初めて成果が得られた瞬間の達成感は格別でした。この経験を通じて、挑戦する意義を深く理解し、自分自身の成長を強く実感しました。環境問題解決への思いは、さらに強まりました。



これからの決意表明



大学院進学を決意し、レシーバー効率向上の研究をさらに深めたいと考えています。学術的な知見を広げ、カーボンニュートラル実現に貢献する技術の開発に挑戦し続けることを目指します。

医学部

保健学科
森本 茉穂 MORIMOTO Maho

保健学科ボランティアサークル「ささだんご」の活動が印象に残っています。福島第一原子力発電所事故で被災された住民の方々への健康支援や交流を行いました。小学生から高齢者まで幅広い年代の方と交流をする中で、相手を知ろうとする重要性を学ぶことができました。住民の方からは「親友だよ」という嬉しいお言葉をいただき、心に残る経験となりました。また、他専攻の学生とも関わることができ、知見を広げることができました。



これからの決意表明



卒業後は、地元の病院で診療放射線技師として働きます。正確な検査を行うことは勿論、患者さんとのコミュニケーションも大切に業務に従事したいと思います。そして、新たな知識や技術を学ぶ姿勢を持ち続けたいです。

理学部

理学科
桑原 華緒璃 KUWABARA Kaori

学生生活を振り返ると、研究室の活動や友人と過ごした日々が印象に残っています。研究室では専門的な知識を深めるとともに、研究活動を通して多くの学びを得ることができました。また、お互いを高め合える仲間に出会え、より充実した時間となりました。コロナ禍で始まった学生生活ですが、多くの経験をすることができ、両親をはじめ支えてくれた方々への感謝の気持ちでいっぱいです。



これからの決意表明



卒業後は大学院へ進学します。切磋琢磨できる仲間がいること、また学べる環境があることに感謝し、研究活動をはじめ多くのことに興味を持って失敗を恐れずに挑戦する2年間にしたいと思います。

法学部

法学科
宗像 綾乃 MUNAKATA Ayano

学生生活で最も印象に残っているのは、所属していた裏千家茶道部での活動です。稽古を通して技術や思いやりの心を磨くことができただけでなく、由緒ある建物をお借りしてお点前をする機会にも恵まれました。また、学部の垣根を越えて多くの人と出会い、辛いことも楽しいことも分かち合いながら充実した時間を過ごすことができました。私に関わってくださったすべての方に、心から感謝しています。



これからの決意表明



卒業後は、地元で県職員として働きます。新しい生活には不安もありますが、少しでも多くの人の役に立てるよう、常に学ぶ姿勢を忘れずに努力していきたいと思っています。

農学部

農学科
野澤 汰一 NOZAWA Taichi

学生生活で印象に残っていることは、馬術部での活動です。はじめは、なんとなく始めた部活でしたが、部活を通じて多くのことを学ぶことができました。そして、大きく成長することができました。また、たくさんの人と出会うことができました。仲間や馬たちと過ごせた4年間は私にとってかけがえのない思い出です。本当にありがとうございました。



これからの決意表明



卒業後は社会人として新生活が始まります。これまでの学生生活で学んだことを生かしてさらに成長していきたいと思っています。そして、常に感謝の気持ちを忘れずに生活していきたいと思っています。

歯学部

歯学科
藤井 孝仁 FUJII Takahito

学生生活で最も印象に残っていることは、全日本歯科学生総合体育大会、通称デンタルです。私は野球部とバスケットボール部に所属するという二足の草鞋で活動していました。野球部は今までデンタルに出場していなかったのですが、6年次には初めて出場することになり、どちらの試合にも出場しました。成績は振るいませんでしたが、長崎まで車移動するなど強く印象に残った最高の夏になりました。



これからの決意表明



来年は研修医として働くことになります。本学の臨床実習で学んだ技術や患者さんへの姿勢を忘れず、一人前の歯科医師になれるよう日々研鑽を積んでいきたいと思っています。

医学部

医学科
大島 悠也 OSHIMA Yuya

学生生活で印象に残っているのは5、6年次の臨床実習です。実習では、実際に患者さんからお話を伺ったり診察させていただいたりしました。実習を通して医学的な知識はもちろんですが、患者さんやご家族、多くの職種を含むチームの中で医師に求められる姿勢を学びました。特に、他の職種や患者さんと積極的にコミュニケーションを取り、課題や目標を共有しながら患者さんをサポートしていくことが大切であると実感しました。



これからの決意表明



4月からは新潟県内の病院で初期研修医として働きます。学生生活で学んだことを糧に、患者さんやご家族とともに歩む姿勢を大切に1日も早く地域の医療に貢献できるように精進してまいります。

経済科学部

総合経済学科
三宅 幸恵 MIYAKE Yukie

学生生活で印象に残っていることは、人との出会いです。サークルやゼミ、同じ学部の友人など多様な価値観や考え方を持つ人との出会いによって新しい発見が生まれ、私にとって良い刺激になりました。そして、楽しみを共有したり、悩みを分かち合ったりすることで、充実した学生生活を送ることができました。この4年間で多くの人に支えられたことで、私自身も人として成長できたと感じているので、関わったすべての方々に感謝しています。



これからの決意表明



私は、春から公務員として働きます。これまで多くの人に支えられてきたので、今度は人を支える立場として住民に寄り添う姿勢を大切にし、柔軟性や広い視野をもって地域に貢献できるように精進していきます。

医歯学
総合研究科

口腔生命科学専攻
川田 里美 KAWADA Satomi

臨床診療と基礎研究を同時に学べたことです。最初は、臨床と研究が密接に繋がっているとは思っていませんでした。しかし、研究活動を通じて自身で論文を検索し、読み解く力を習得しました。特に臨床の根拠となる研究を調べ、一つの事象を分析して考える力を培えたと思います。この力は基礎研究に携わらなければ身につきませんでした。振り返ると、両者の繋がりを意識して学べたことでより実り多い学生生活を送ることができました。



これからの決意表明

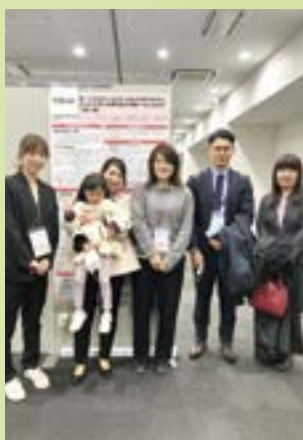


大学院での臨床診療と基礎研究で獲得したスキルを地域医療に還元していきたいです。多職種連携を大切に、地域在住の高齢者が住み慣れた地域や自宅で、家族と長く生活できるように貢献していきたいです。

保健学研究科

保健学専攻
田崎 裕子 TAZAKI Yuko

研究活動中に言われた一言がとても印象に残っています。住民活動に焦点をあてて研究をしましたが、当初は研究の社会的意義に自信を持てずにいました。ある時、研究対象の活動リーダーから「自分たちは地域に影響があるような活動はできてないよ」と言われたことで、研究を通して住民活動が地域へ与える影響を明らかにすることの社会的意義を実感し、自信を持って研究ができるようになりました。



これからの決意表明



地域で暮らす人々がその人らしく生き生きと生活するために、研究活動を通してサポートしていきたいです。まだまだ未熟ですが、大学院で知り合った仲間や先生方との絆を大切に、これからも頑張ります。

現代社会文化
研究科

社会文化専攻
伊藤 早穂子 ITO Sahoko

大学院生活の中では、学会発表を行ったことが最も印象に残っています。準備は大変でしたし緊張もしましたが、様々な方から意見や質問を受け、自分の研究の課題や、今後分析を深めていくべき点を見直すことができました。また、大御所の先生がいらっしゃる前でも落ち着いて発表できたことは自信にも繋がりました。発表後には、司会の先生から「よい研究者になってください」と言ってもらったことが、大変嬉しかったです。



これからの決意表明



春からは、博物館学芸員として働き始めます。これまで得た知識や物事の考え方を生かしていくのはもちろんのこと、何よりも学ぶことの楽しさを忘れずに日々の業務に取り組みたいと思います。

創生学部

創生学修課程
山岸 虹太 YAMAGISHI Kota

多くの人との出会いです。高校までは人と積極的に関わるタイプではなかったですが、大学ではとにかく様々な未知の分野に飛び込んでいくことを目標にしていました。その結果大学では5つのサークルに所属し、多くのバイトを経験しました。また海外経験のなかった私が中国に訪問して、現地の学生に日本文化を紹介する授業を行ったりもしました。そんな中で人と関わることの楽しさを知り、充実した大学生活を送ることができました。



これからの決意表明



大学生活で培った「人と関わる力」を生かして社会人として十二分に活躍していきたいです！もっと多くの教養を身に付けて、他者をワクワクさせることのできる「輝ける存在」であり続けたいと思っています。

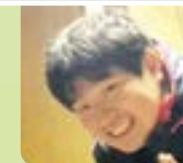
自然科学
研究科

数理物質科学専攻
近江 祐哉 OMI Yuya

印象に残っていることは、研究を通じた人との交流です。留学生と連絡を取り合い、異なる視点や文化を超えたコミュニケーションの難しさ面白さを学びました。研究内容を分かりやすく伝えることは難しく、研究室内で様々な議論を行い、簡潔に情報をまとめる力や相手の視点に立って話す力を身につけました。多くの人に研究について伝えることができ、大きな自信につながりました。新潟大学で得た経験は、将来にも必ず生きると確信しています。



これからの決意表明



卒業後は、IT企業に就職します。私は、新潟大学で培った経験を生かし、ITで社会の願いを叶えるために、様々な課題解決をしたいと考えています。大きな目標に向かって、仲間と力を合わせて同期発火を起こします。

教育実践学
研究科

教育実践開発専攻
吉川 久美子 YOSHIKAWA Kumiko

皆さんと話し合う機会が多く大きな刺激となりました。高度な専門性を備えた先生方、約20歳の年齢幅のある院生など、専門領域や興味・関心の異なる様々な立場の方と話し合うことで、以前よりも柔軟に物事を考えられるようになったと思います。ここでの出会いのおかげで、多様な視点に気づくことができ、皆さんに大変感謝しています。現場を離れ再び学生を経験できたことも、生徒の立場に立って考えることに役立っています。



これからの決意表明



大学院での学びは、まだ現場で生かせるヒントを得たにすぎません。現場で実践することが重要です。毎日の教育活動の省察を続け、その場に馴染む方法を模索しながら実践していきたいと考えています。

保健学科
樋井 瑞姫 HINOI Mizuki

医学部

卒業後の進路を選択したきっかけは献血です。大学に入学するまで、関心はありつつも協力できていなかったのですが、保健学科に進学したことで、授業などで献血を奨められることが多くなり、協力させていただくようになりました。今までに全血献血と成分献血をあわせて10回程協力させていただきました。献血は患者さんにとっての命綱であると知り、私も微力ながらその分野に携わっていきたいと思い卒業後の就職先を選択しました。



これからの決意表明



臨地実習で実際に病院で見学や手伝いなどをさせていただくなかで、まだまだ自分の未熟さを感じる面がとて多かったのですが、そこを改善し一人前の臨床検査技師になれるように励んでいきたいです。

理学科
坂上 紘也 SAKAUE Kouya

理学部

私は理学部を卒業後、本学の自然科学研究科に進学します。私は、元々学部4年での卒業について、与えられたおおよそ1年という期間では研究活動の面白さを十分に味わえないのではないかと不安に思っていました。そんな中で進学を選択した決定的なきっかけは、学部4年次に田崎研究室に所属したことです。田崎さんや先輩方、同期の皆と交流し、研究の世界に触れていくうちに、「世界で自分だけが知っている事象がある」というロマンを追いたいと強く感じました。



これからの決意表明



大学院では、今まで以上に自分の研究に注力するのはもちろんのこと、学会参加等を通して分野外の研究にも触れ、視野を広げることも意識したいです。様々な視点からアプローチし研究活動に生かしたいと思います。

法学科
正田 光輝 SHODA Koki

法学部

法学部卒業後は国家公務員として中央省庁で勤務します。国を守ることができる事に憧れがあり、大学の授業にて培った法学の知識や憲法ゼミを通して得た論理的思考力を、実務や政策の場面において発揮できると考えたことが大きなきっかけです。いつの時代も人々の当たり前の暮らしを守ることは重要なことです。これから多くの困難に直面するかもしれませんが、新潟大学で学んだ真の強さを糧に乗り越えて見せます。



これからの決意表明



これまで多くの人のおかげで、無事に大学卒業まで迎えることができました。これからは、恩返しの意味も込め、この国のために役立てるように日々精進し、微力ながら一国家公務員として貢献していきます。

人文学科
山田 健太 YAMADA Kenta

人文学部

私は卒業後、福島県職員として働きます。私は地元が福島県で、高校生の頃から福島県で働きたいと思っていました。職種には特にこだわりがなかったため、福島県をより良くするために幅広い分野で貢献できる公務員を目指そうという考えに至りました。地元である福島県で働きたいという気持ちは大学生活を送る中でも変わらず、最後まで高いモチベーションを保って採用試験に合格することができました。



これからの決意表明



私はサークルやアルバイトなどで幅広い年代の方と交流してきました。この経験を生かして、県職員の先輩や地域の方々など、様々な人と協力しながら福島県をより良くするために尽力したいと思っています。

口腔生命福祉学科
竹内 碧衣 TAKEUCHI Aoi

歯学部

福祉実習を通して福祉の営みや福祉課題を他人事として考えていたことに気づきました。社会にはまだまだ自分の知らない福祉の魅力や素晴らしさ、また解決すべき問題や声なき声がたくさんあります。自分自身がその現状に目を向け、解決したい、発信していきたいと思いました。「当事者ではないから関係ない」という社会から、社会課題や他者に興味関心を持ち、誰もが当たり前を支え合う社会を創りたいです。



これからの決意表明



4月からは地元新潟を離れ、東京で社会人生活が始まります。不安もありますが、自分らしくがむしゃらに頑張りたいです。プライベートでも美味しいご飯を食べたり、旅行に行ったりして、楽しく暮らしたいです。

医学科
藤井 愛 FUJII Ai

医学部

私が医師を目指した理由は、一人でも多くの人に寄り添い、より良い医療を届けたいと思ったからです。医の道を生業とする者は、知識や技術が確かなものであることも重要ですが、それと同等に、自分の態度や言葉一つ一つが患者さんやその家族の心情に大きな影響を及ぼさうという自覚が大切だと思います。そのことを忘れず、患者さんの心と共にあるようなチームを作り上げられる医師となって、私も社会に貢献したいと思いました。



これからの決意表明



卒業後2年間の初期研修は、今後のキャリアの礎となります。辛いことも多くあると思いますが、新しい地での挑戦の日々を想像し、胸が躍ります。仲間と切磋琢磨し、目標に向かって幅広く経験を積んでいこうと思います。

総合経済学科
藤原 功気 FUJIWARA Ibuki

経済科学部

大学の授業やダブルホーム活動で様々な地域の方々に関わり、活動を行っていく中で、風習や特産品など地域ごとにまた違った魅力があることを知り、各地域の魅力を持続的に維持・発展させ続けることができるような仕事に関わりたと思ったことがきっかけです。卒業後は、物流・人流の双方を担う高速道路会社で地域の方々の生活の土台を支え、新潟をはじめとした各地域の魅力を発信し続けていきたいと考えています。



これからの決意表明



この4年間で成功や失敗も含めて、数多くの挑戦をすることができました。失敗することも、成功への大きな近道です。就職後も失敗に臆することなく、日々の仕事に精進していきます。

学校教員養成課程
須貝 京祐 SUGAI Kyousuke

教育学部

私は3年次に行われた教育実習を経て小学校の教師になりたいと思うようになりました。実習での初めての授業では緊張して理想とは程遠い授業をして悔しい思いをしましたが、最後の授業では楽しく授業をすることができました。同じクラスの実習生や実習先の先生に助けてもらいながらですが、1か月やりきることができたということが自信につながり、子どもたちからの「いい先生になってね。」という言葉に背中を押され小学校の教師を志すようになりました。



これからの決意表明



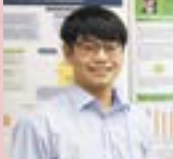
私が教師になったら、私が教える児童が自分に自信をもって最後まであきらめないように育てほしいと考えます。そのためにまず、私が誰よりも児童を信じて児童の可能性を否定しない教師になりたいです。

保健学専攻
保健学研究科
阿部 峰士 ABE Takashi

卒業後の進路を病院に決めたいきっかけは、子どもの頃からの憧れです。私は、幼少期、病弱で入退院を繰り返していました。治療の過程で、大勢の医療従事者の方々にお世話になり、感謝とともに自分も誰かの役に立てる人間になりたいと思い、医療職を志すようになりました。臨床検査技師は、様々な検査を行い、診断の補助を行うことができる仕事です。医療職の中でも病気の原因を突き止めることができる点に魅力を感じ、選択しました。



これからの決意表明



春から新潟市内の病院で働きます。大学院では、学会発表をはじめとして学部生のときにはできない経験をすることができました。得られた経験を糧に、信頼される臨床検査技師となれるよう、精一杯努めます。

社会文化専攻
現代社会文化研究科
木野 恵吾 KINO Keigo

私は博士前期課程修了後に後期課程へ進学することを選択しました。人文社会系で進学する人は少なく、たくさんの迷いがありました。ですが、知らない事がわかるという楽しさ、知られていない事を自分の手で切り開いていける研究活動に魅力を感じたということが選択の際、一番の要因となりました。また分野や大学の内外を問わず、尊敬できる先輩や若手教員の方と接する中で、自分の目指したい目標や姿が定まったということも大きな要因でした。



これからの決意表明



研究者として、大学や社会に対してプラスとなる行動をこれまで以上に増やしていきます。研究内容や身に付けたスキルを通して、積極的に貢献できる活動を見つけ、還元していけるよう努力し続ける所存です。

創生学修課程
創生学部
杉山 恵 SUGIYAMA Kei

学外学修でレジのシステムを作っているIT企業を訪れたことです。システムが人々の生活を支えていることを実感し、その責任とやりがいを肌で感じました。また、課題に苦勞する中で、チームでのづくりに関わることへの興味が深まりました。これらの経験から、卒業後はソフトウェア開発会社で働く道を選びました。必要な知識や技術は多いですが、社会に貢献できるエンジニアを目指して頑張ります。



これからの決意表明



新しい環境への不安もありますが、大学での学びや経験を糧にして、自分なりに成長していきたいです。周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、日々努力していきます。

工学科
工学部
田中 柚希 TANAKA Yuki

卒業後、私は栃木県庁の土木職の職員として働きます。大学で学んだ社会基盤工学の知識を生かしたいと考え、公務員として社会インフラ事業に携わることを決めました。就職活動では公務員と民間志望かで悩みましたが、一つの事業にトータルで関わりたいという思いから、公務員を選びました。大学進学を機に地元を離れましたが、新潟での大学生活の中で改めて地元の良さに気づくことができました。4年間の経験を生かして、栃木県で地域創生に取り組んでいきます。



これからの決意表明



友人や先生方、家族に支えられ、充実した大学生活を送ることができました。4月からは、新潟大学で学んだことを生かし、栃木県に貢献できるよう自分のできることを精一杯がんばります。

医歯学専攻
医歯学総合研究科
五十嵐 梨紗 IKARASHI Risa

修士課程修了後は博士課程に進みます。高専専攻科を卒業後、修士課程から現在の研究室への進学を決めた時点で博士課程への進学を考えていました。新しい分野の知識や研究技術を学ぶためには修士2年間では短すぎる!と感じたことや研究及び指導環境の良さ、そしてなによりも先生方・スタッフの皆さんの雰囲気の良いさに自分もここで研究者としてまた人として大きく成長したいと考えようになり、博士課程進学を決断しました。



これからの決意表明



博士課程進学後は新しいテーマで研究を始める予定です。博士学生としての責任を自覚しつつ「興味のあることに正直に生きる」をモットーに、自ら研究題材や計画を立てて研究に邁進し、成長を続けたいと思います。

生命・食料科学専攻
自然科学研究科
小野寺 尚美 ONODERA Naomi

きっかけは3年間のトキについての研究生生活です。研究室の先生方やラボメンバー、家族や友人たちの力強い支えにより充実した日々を過ごすことができました。研究活動において一から根気強く指導して下さった先生方、本当にありがとうございました。社会人生活においても継続して努力を続け、大学で学んだ知識や経験を生かしなが日々成長していきたいと考えています。



これからの決意表明



春からは新しい環境での社会人生活が始まります。大学院で周りの方々に支えていただいたように、私も誰かを支えられるような人になれるよう努力していきたいです。

教育実践開発専攻
教育実践学研究科
羽二生 翔 HANYU Sho

卒業後、私は教師として働きます。教師を目指すきっかけは、高校時代に友人に勉強を教えた経験です。友人が苦手な数学の問題と一緒に解き、「分かった!」と笑顔を見せてくれた瞬間、教える喜びを実感しました。また、大学の実習で生徒たちから「初めて考える内容で楽しかった」と言われ、自分の授業が学びのきっかけになる喜びを感じました。人と向き合い、成長を支えることのすばらしさを感じた経験が、私の教師になるきっかけです。



これからの決意表明



一誰かの心に届く存在でありたい—自分らしい姿勢で人と向き合い、互いに学び合える関係を築いていきたいです。一つひとつの出会いを大切に、成長し続ける人間でありたいと心に決めています。

農学科
農学部
石井 伽歩 ISHII Kaho

卒業後は地元の県職員として働きます。はじめは、地元に帰って働きたいというぼんやりとした理由で進路を考えていました。ですが、作物学研究室で実際に圃場に出て作業をし、卒論テーマに関係する新品種の育成に関わったことで、農業を通して地元に貢献したいという気持ちが強くなりました。研究室での活動で経験したことや学んだことを生かして地元を支えられるよう努力していきます。



これからの決意表明



働き始めたら、難しいことや大変なことだらけだと思います。ですが、諦めないで粘り強く取り組むことと周囲と協力して取り組むことを忘れずに、県職員として精一杯勤めたいです。



新潟大学全学同窓会

白杵勇人会長インタビュー

全学同窓会の活動について、
白杵勇人会長にインタビューしました。



全学同窓会の理念や目標について教えてください。

全学同窓会の目標は、「新潟大学の発展と社会への貢献に資すること」「学生への支援を講ずること」「会員相互の交流と連携及び親睦を図ること」などです。この目標達成に向けて、会員への情報提供やサービスを充実し、大学の発展・社会貢献を推進して、「会員にとって同窓会の存在が実感できる同窓会づくり」、「母校とそこで学ぶ学生さんを支援できる力量ある同窓会づくり」を進めていきたいと考えています。

全学同窓会の活動や事業について教えてください。

広報紙「雪華」の発行、ホームページやメールマガジンの配信、「全学同窓会交流会・講演会」(大学と共催)の開催、大学との懇談会・懇親会の開催、「新潟大学カード」(クレジットカード)事業、大学への支援事業、学生さんの部活動やサークル活動を支援するための公募型の「雪華支援事業」などを行っています。

今年度は、新潟大学創立75周年の記念式典・祝賀会が開催され、全学同窓会からも創立75周年をお祝いして沢山の協力・支援を実施しました。また、学生等への雪華支援事業では、27のサークル・団体、附属図書館に330万円の支援を行うことができました。

「新潟大学カード(ゴールドカード)」は、入会費・年会費永年無料のクレジット

卒業したら…

新潟大学カードに入会しよう!

新潟大学カードは特典充実のVISA国際カード

新潟大学カードに関するお問い合わせは…

新潟大学全学同窓会事務局 TEL:025-262-7891

受付時間 平日10:00~15:00 E-mail:n-doso@adm.niigata-u.ac.jp



カードです。多くの皆様にご利用いただき、収益を大学や学生さんの支援に充てています。皆様方にも卒業を機に是非ともご入会をお願い申し上げます。

学生、卒業生に一言お願いいたします。

ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

アフターコロナの中、対面授業が本格的に開始され、授業ばかりでなくサークル活動、仲間との語り合いなど充実した思い出多い大学生活が送れたのではないのでしょうか。

全学同窓会は、母校の教育・研究が成果を挙げ、評価が一層高まることを願っています。そして何よりも教職員、学生の皆さん一人一人のご努力・ご活躍を支援するとともに、卒業後それぞれの社会生活の中で、大学で育んだ力を存分に発揮し、新潟大学の卒業生であるという自信と誇りをもってご活躍されることを期待し、応援しております。卒業される皆様の前途に幸多かれと祈るとともに、ますますのご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。

【新潟大学全学同窓会HP】 <https://www.niigata-u-dousou.jp/>

【新潟大学全学同窓会事務局】

TEL:025-262-7891(受付時間 平日10:00~15:00) FAX:025-262-7892

E-mail:dosojimu@adm.niigata-u.ac.jp

新潟大学サポーター倶楽部

新潟大学の活動を継続的にご支援いただける企業や法人・個人の方々にご入会いただいております。

年会費を「新潟大学基金」へご寄附いただき、本学の「学生の修学支援」、「国際交流」、「教育施設整備」を推進する事業に活用させていただいております。

(主な活用事業:輝け未来!!新潟大学入学応援奨学金、新潟大学大学院博士課程奨学金、新潟大学学業成績優秀者奨学金、課外活動施設整備など)

令和6年度新潟大学サポーター倶楽部報告会・情報交換会を開催しました

サポーター倶楽部会員の皆様をお招きし、倶楽部からの支援を活用した奨学金を受給した学生が、感謝と特色ある活動などをお伝えする「新潟大学サポーター倶楽部報告会・情報交換会」を開催し、倶楽部会員、学生、大学関係者合わせて143名が参加しました。

報告会では、倶楽部会員からの支援による奨学金の受給者のうち代表の学生10名から、ご支援に対する感謝と共に研究活動や課外活動などの大学生活や自身の体験、将来の夢などについて発表がありました。

情報交換会では、テーブルごとに倶楽部会員と学生による意見交換が行われ、倶楽部会員からは、「支援している学生達が頑張っていることを知ることができた」「学生と交流する機会が持てて良かった」などの声が聞かれ、学生からは、「社会人としての心構えなどのアドバイスや将来の希望を真剣に聞いてもらえた」など、とても有意義な会となりました。



報告会の様子



情報交換会の様子



新潟大学サポーター倶楽部



倶楽部会員紹介

【お問い合わせ先】

新潟大学サポーター連携推進室

TEL: 025-262-6010

E-mail: kikinjimu@adm.niigata-u.ac.jp

個人情報の取扱いについて

■新大広報では皆様からお預かりした個人情報につきまして、責任をもって管理することをお約束いたします。

■アンケートや誌面へのご意見、掲載希望他、お預かりした個人情報は新大広報の企画の参考にさせていただきます。この目的以外に使用したり、第三者に提供したりいたしません。

2025年 卒業記念号 [No.231]

2025年3月発行

編集・発行／新潟大学学務部・新潟大学広報事務局

印刷／株式会社DI Palette



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

新大広報 Back Number

新大広報のバックナンバーは新潟大学ホームページで公開しています。

また、学務部学生支援課で受け取ることもできます。

新大広報

検索



Follow us!

新大広報公式
X (旧Twitter)



新潟大学公式SNS



X (旧Twitter)



Instagram



Facebook

新潟大学ホームページ

<https://www.niigata-u.ac.jp/>